

ある。だから常に清潔を保ち、自然を大切にしたいものである。

山頂にはアキアカネやハナアブなども多く、夏期は平地から吹き上げられるアゲハ、キアゲハなども飛翔する。また稀にフワフワと風に乗るようにしてアサギマダラが飛んで来ることもある。

アサギマダラは阿武隈山地では珍しい種類の一つで、日山の他には霊山で確認されている。元来南方系の種類でいつの時代にか日本に土着したものと思われるが、福島県内では1,000m以上の高地でしか見られていない。

帰化した後どのような理由で高い地域に住みつくようになったかは知る由もないが、食草であるカモメヅルやオオカモメヅルなどのガガイモ科の植物は平地にも分布しているところからすると、その分布には食物以外に気温など他の要因も深く関係しているものと考えられる。

日山では登山路入口からすぐの水場附近にもよく現われ、7月～8月にかけてはかなりの個体数も多い。

山頂の芝生の周辺はヤマツツジの群落となり、初夏の花の時期がひとしお景観を引き立たせることが偲ばれる。低木の間からはウグ



ヤマガラ

イスの地鳴きがあちこちから聞かれ、アカハラカツグミのようなやや大型の鳥が一直線に飛び、春から夏にかけては鳥相も豊かであることが推察される。

山頂から茂原方面に下りる小路はツツジのブッシュがしばらく続き、やがてウリハダカエデ、リョウブ、コナラなど広葉樹林になる。

所々に花崗岩の巨大な石組みがあり、胎内くぐりなどと呼ばれている。この附近の秋のカエデの紅葉、春の新緑は美しい。樹間にはジャノメチョウ類も多く、足元からひらひら舞い立つ。斜面を降りた所に水飲場がある。登